

令和8年度 神流町小中学校連携教育プラン 学校要覧

地域とともにある学校

コミュニティ・スクール

学校運営協議会

- 学校・保護者・地域が目指す子ども像を共有
- 学校課題解決に向けた学校・地域の役割分担
- 学校評価の実施と分析対応策の検討

地域学校協働活動

地域学校協働推進員

地域学校協働本部

- 地域人材・ボランティアの活用
- 神流自然楽校における体験活動の実施

ふるさと学習 (地域を教材・教室に、地域の人を先生に)

小学校

- さつまいも苗植え・収穫・収穫祭 (全学年)
- お買い物ツアー (1・2年) ○交通安全教室 (1～4年)
- 昔の遊び教室 (1・2年) ○自然スクール (全学年)
- 町探検 (1・2年) ○福祉体験 (3・4年)
- 駐在所見学 (3・4年) ○消防署見学 (3・4年)
- 赤ジャガ農家見学 (3・4年)
- アワバタダイズ豆腐作り (3・4年)
- 観光施設見学 (5・6年) ○森林組合見学 (5年)
- 化石発掘体験・地層見学 (5・6年) 等

中学校

- 鯉のぼり設置 (全学年)
- 御巢鷹の尾根慰霊登山 (2年)
- 高校を知るオリエンテーション (2年)
- 奥多野の味伝承講習会 (1年)
- 職業講話 (1年)
- ふるさと学習「神流の歴史」 (2年) 等



神流町小中学校 学校教育目標

ふるさとに誇りをもち、
自らの志を果たそうとする子どもの育成

「人」と「自然」が調和し、懐かしい風景のある神流町

平成15年4月に万場町と中里村が合併して「神流町」となりました。神流町は、群馬県南西部に位置し、奥多野の深い山々と清流に囲まれた町です。標高は、役場周辺が340mで、周囲には1,000m級のいわゆる西上州の山々が連なっています。河川は、町の中央部を西から東へ神流川の清流が流れ、数多くの支流が神流川へと注いでいます。また、ここ神流町は、全国で最初に「鯉のぼり」をイベント化した元祖として知られ、日本で初めて恐竜の足跡化石が発見されたことから「恐竜王国」としても有名です。

万場小学校、中里中学校ともに、町村の合併に伴い、平成16年4月に開校し、地域の学校として地域と共に歩んでいます。



神流町立中里中学校



中里中学校 (校長 茂木 宏隆)
〒370-1602 多野郡神流町神ヶ原422
TEL 0274-58-2517 FAX 0274-20-6155
E:mail nakachu.tatoro@kannamachi.jp



神流町立万場小学校



万場小学校 (校長 山田 真由美)
〒370-1602 多野郡神流町万場84-2
TEL 0274-57-2320 FAX 0274-57-3851
E:mail manbashi@kannamachi.jp

学校教育目標

ふるさとに誇りをもち、自ら志を果たそうとする子どもたちの育成

目指す
児童像
生徒像

【万場小学校】 社会の変化に対応できる「生きる力」を身に付けた児童
かしこく（明智）やる気いっぱい
やさしく（親愛）笑顔いっぱい たくましく（勇気）元気いっぱい

【中里中学校】 「自立・貢献」できる生徒
Study … 学ぶ意欲と主体的に考える力の向上
Smile … 潤いのある豊かな心の醸成 Strong … たくましい体力と気力の向上

目指す
学校像

地域・保護者と共に歩む魅力ある学校(保護者や地域の方が身近に感じる「うちの学校」)

体験活動や体験的な学習を通して学ぶ（生活や社会と学びをリンク） → 自ら学ぶ意義や必要性を理解し、意欲的に学ぶ

既存の知識や少人数学級の強み（発言しやすい人間関係、発言・発表の機会の多さ、評価の速さ等）を活かし、主体的・対話的に学ぶ

読書に意欲的に取り組む（読み聞かせ・図書ボランティアの活用・ブックトーク・ノーメディアデーウィーク・学校図書館の積極的な活用等）

ICT機器（一人一台端末・MAXHUB等）を活用した個別最適な学び、および、協働的な学びの構築



□授業スタンダードの
実践

めあての確認

個人の思考

学び合い

まとめ

振り返り

○ 児童・生徒が主体となる授業へ

○ 地域や関係諸機関の力を学びに活かす

○ 児童・生徒同士、児童生徒と教師、単元と単元、
教科と教科等をつなぐことで、学習内容を深める



全教育活動を通じて行う道徳活動や豊かな体験活動、行事等を通して「豊かな心」の醸成に努めるとともに人権感覚と自己有用感を高める

汎用的な行動様式の習得やコミュニケーション能力など児童生徒の発達段階に応じたキャリアを身に付ける



道徳教育の改善・充実 …… 児童生徒主体の道徳・議論する道徳の推進（全校道徳等）

話し合い活動の改善・充実 …… 先生と一緒に考える → 友達同士で解決する → 議論し決定する

※児童会によるエージェンシーを発揮した行事づくり → ※生徒会による生徒主体の学校づくり

※日常的な行動・コミュニケーションの取り方 → ※将来を見据えた社会的・職業的自立に向けた基盤



体育的行事・業前活動・休み時間・部活動等、活動の機会を確保・充実させ、体力の向上を図る

家庭や地域と連携し、健康的な生活習慣を身につける

健康教育の充実 …… 保護者や地域との連携・栄養教諭による食指導・養護教諭によるTT

運動量の確保 …… 元気アップタイム・放課後の運動・全校体育・スポーツデイ

○ 保護者・地域と連携し町ぐるみで健康教育を推進する

○ 手洗い、うがい、歯みがき等を習慣化する

○ 交通安全指導や避難訓練を通して安全意識や危険回避能力を身に付ける

○ 食・睡眠についての意識を高める

○ 外遊びの励行、体育的集会・教科体育・部活動を充実させ、しっかり運動する



か
し
こ
く

S
t
u
d
y

や
さ
し
く

S
m
i
l
e

た
く
ま
し
く

S
t
r
o
n
g